

研究課題番号	5-1705
研究課題名	非意図的に副生成する臭素系ダイオキシン類の包括的なリスク管理 と TEF 提示
研究実施期間	平成29年度～令和元年度
累計予算額	138,060 千円
研究機関名	国立研究開発法人国立環境研究所
研究代表者名	鈴木 剛

1. 評価者の指摘及び提言概要

分析法、毒性情報、TEF の提示まで、重要な成果が得られている。行政ニーズにこたえて十分な成果を上げた。査読付き論文発表も適切に行われている。多くの異性体を有する臭素系ダイオキシン類には、包括的に評価できる生物検定法は有意義と考えられる。また、排出源や対策、魚類・ほ乳類による毒性評価に関しても一定の成果が得られたと判断できる。環境政策に対しては一定の貢献ができたものと考えられる。

本研究のデータはほとんどハロゲン化ジベンゾフランを扱ったものであり、その点について、最初に明言しておく必要があると思われる。

2. 評点

総合評点：A